

第1章 解 説

本儀式は、小規模な団内グループ(ロッジ単位程度)が、簡易な準備で行える霊的集合儀式(Astral Temple Working)として作成した。従って、実行儀式よりも簡略化した部分がある。

《春秋分点》は、「均衡と調和」を表象する宇宙的な時刻である。年に2回の分点において、太陽の運行または振動と地上の四大元素が融合する。本儀式は、原則的に春秋分点の前後48時間以内に実施すること。2015年の春分点通過は3月21日(土)午前7時45分(日本標準時)である。儀式内容については、ギカティラの「十二流旗」とカプランが紹介した「ベスの筆写」を活用し、春分の祝祭を実施する。

1 概 要

(1) 十二流旗

2000年の春秋分点儀式において、ドナルド・タイソンの解釈によるラビ・ギカティラの「四つの流旗」を紹介した。ギカティラの『光の門』では、聖四文字の組み合わせを変えることによって、各流旗に3つつ計12の聖四文字の組み合わせを示した。⁽¹⁾ ラビ・モーゼス・コルドヴェロは、十二流旗の組み合わせとして、ギカティラより先に別パターンを紹介している。しかし、ギカティラの配置が普及しているため、本儀式はかれの配置(下表)による。⁽²⁾

第1の流旗	I H V h	I H h V	I V h H
第2の流旗	H V h I	H V I h	H h I V
第3の流旗	V h I H	V h H I	V I H h
第4の流旗	h I H V	h I V H	h H V I

H(最初のへー) h(第二のへー)

4×3=十二流旗

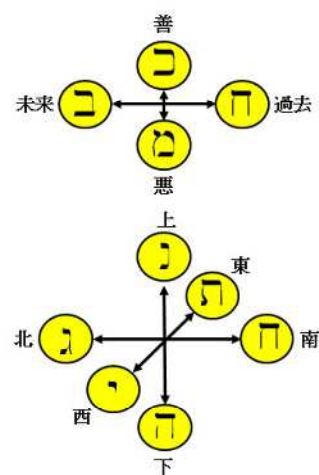
承知のとおり、聖四文字にはへーが二つ含まれているので、4×3×2=24ではなく、その半分の12が組み合わせの数である。2000年版では、タイソンの解釈により、最初のへー(H:ハイ)と第2のへー(h:へイ)を分けて男女の二十四流旗の組み合わせを作成した。⁽³⁾

今回はオリジナルの十二流旗のみ使用する。

この聖四文字には、さまざまな象徴が割り振られている。

『セフェル・イエツィラー』によれば、ケテル・マルクト対が善・悪、コクマー・ビナー対が過去・未来、ケセド・ゲブラー対が南・北、ティファレト・イエソド対が東・西、ネツァク・ホド対が上・下に照応する。それぞれのセフィロト対には5母音が帰属する。⁽⁴⁾

軸	セフィロト対	母音
霊 的	ケテル・マルクト	o
時間的	コクマー・ビナー	a
南・北	ケセド・ゲブラー	e
東・西	ティファレト・イエソド	u
上・下	ネツァク・ホド	i



ヘブル語の聖四文字のギリシャ魔術版は ιαω (以下「IAO」) である。⁽⁵⁾ しかし、ギリシャ

(1) Rabbi Joseph Gikatilla, *Gates of Light : Sha'are Orach*, San Francisco : Harper Collins, 1994, pp.232f.

(2) おそらく『石榴の園』の英語訳が遅れていることに起因している。

(3) Donald Tyson, *The Power of Words (Formerly Tetragramaton)*, 1998., St. Paul : Llewellyn, 2004, pp.14, 23, 44.

(4) Aryeh Kaplan, *Sefer Yetzirah : The Book of Creation*, Revised Edition, York Beach : Weiser Books, 1997, pp.82ff, 106.

なお、106頁の表24の記述「north-south」は「south-north」の誤植である。

(5) Hans Dieter Betz, *The Greek Magical Papyri in Translation*, Chicago : University of Chicago Press, 1986, p.335.

・エジプト魔術パピルス文書に頻繁に現れるコプト語版ではIAHOやIAOUなどの様々な変形が試みられる。これについてボハクは、より正確な翻案を試みたものと解釈している。⁽⁶⁾

その中のひとつの解釈がIAOEである。下表のように発音する。⁽⁷⁾

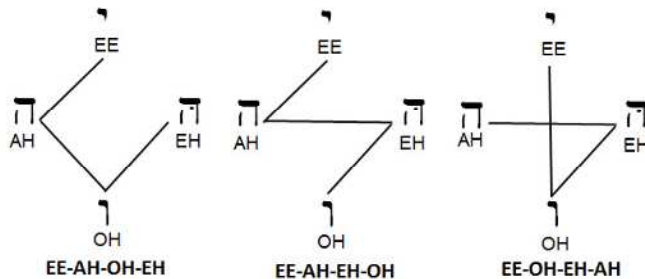
ヨド	I	I	EE (イー)	頭部 (鼻梁、頬から頭頂へ)
へー	H	A	AH (アァー)	胸部中央 (心臓)
ヴァウ	V	O	OH (オォー)	太陽神経叢 (胸骨の真下)
へー	h	E	EH (エェー)	喉及び頸部

従って、先に示した十二流旗を音声化すると次のようになる。

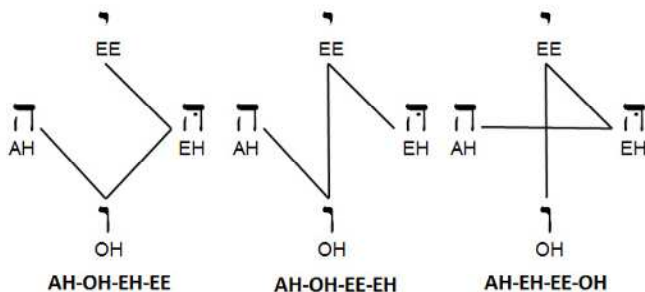
第1の流旗	EE-AH-OH-EH	EE-AH-EH-OH	EE-OH-EH-AH
第2の流旗	AH-OH-EH-EE	AH-OH-EE-EH	AH-EH-EE-OH
第3の流旗	OH-EH-EE-AH	OH-EH-AH-EE	OH-EE-AH-EH
第4の流旗	EH-EE-AH-OH	EH-EE-OH-AH	EH-AH-OH-EE

さらに各文字の位置を示すと次のようになる。

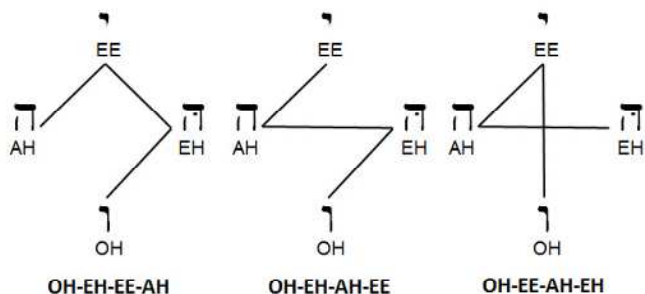
第1の流旗の3態は、以下のとおり。



第2の流旗の3態は、以下のとおり。



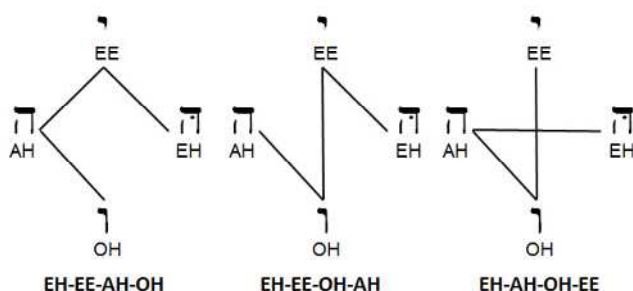
第3の流旗の3態は、以下のとおり。



第4の流旗の3態は、以下のとおり。

(6) Gideon Bohak, *Ancient Jewish Magic : A History*, New York : Cambridge University Press, 2008, p.198, n154.

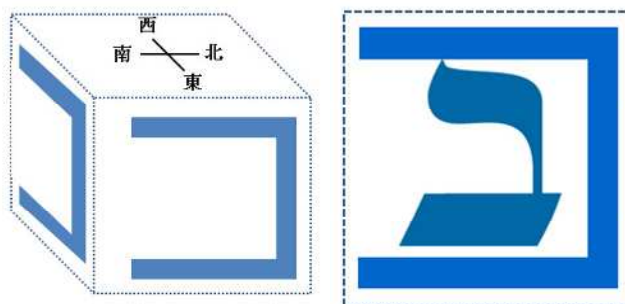
(7) Jacobus G. Swart, *The Book of Self Creation*, Gauteng (South Africa) : The Sangreal Sodality Press, pp.274f, 336.



(2) ベスの筆写

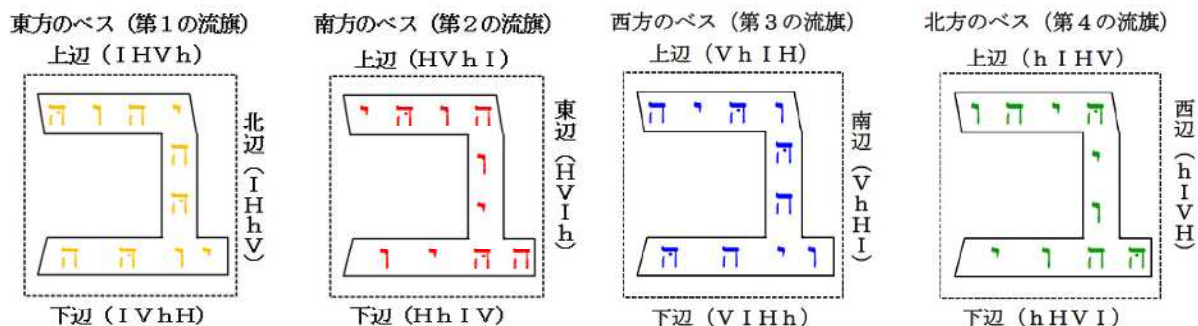
ギカティラの十二流旗を四方位に立体的に再配置すると四つのヘブル文字ベスが浮かびあがる。⁽⁸⁾

流 旗	方位	辺	聖四文字
第1の流旗	東	上辺	I H V h
		北辺	I H h V
		下辺	I V h H
第2の流旗	南	上辺	H V h I
		東辺	H V I h
		下辺	H h I V
第3の流旗	西	上辺	V h I H
		南辺	V h H I
		下辺	V I H h
第4の流旗	北	上辺	h I H V
		西辺	h I V H
		下辺	h H V I



四方位のコの字型の文字列は四つのベスを空間に築く。このベスの中に三つづつ流旗が収まり、四つのベスで十二流旗となる訳だ。魔術的儀式の所作のなかでは、四つのベスは四方位への封印となる。

文字の配列は下図のように、垂直の辺（右辺）は最初と最後の文字が重複する構造になっている。また、火文字の色は各方位の四大色に描かれている。

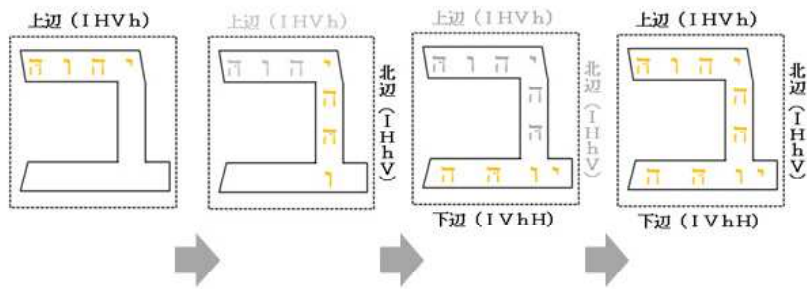


実際の魔術作業（実効ある儀式の遂行）においては、しかるべき空間にベスを視覚化しなければならない。その順序は配列された聖四文字の組合わせをなぞる形になる。

最初に上辺の右から左に四文字をなぞる。次に最初の四文字の第一字を捕らえて、一気加勢に垂直に四文字を切り下ろす。次に第二の流旗の最後の文字のひとつ右から左に向かって最後の四文字をなぞるのである。右左～上下～右左となぞる都度、対象となる四文字のみを炎のように燃え上がらせなさい。その際、すでに描き終えた文字は暗色に転じて背景に紛れていく。そして、最後に流旗全体の複合した三つの四文字が輝く。

その流れは第1の流旗（東方のベス）においては、下図のとおり。

(8) Kaplan, op. cit., pp.203-205.



2 司官の配置

(1) 司官の指定

本儀式に必要な司官は、PRAECEPTOR (PC)、すなわち「先導者」の1名である。

PCは、黄金の夜明け団の伝統的な白の法衣を纏い、白のネミスをかぶり、マントやその他の役職記章はつけていない。右手に「ハイエロファントの棒」をもつ。それは神殿を開き、つなげる権威の象徴である。

他の参列者は、内陣団員は白の法衣と白のネミスを、外陣団員及びプロベিশヨナーは、黒の法衣と白黒縞のネミスをかぶり、手には何も待たず参集する。

ディオン・フォーチュンの内光協会のアストラル神殿儀式では、参集者は儀式場に座ったまま、光体（かれらはアストラル体と呼称）を下位アストラル神殿に投射する。そのとき光体は全裸であり、神殿の着衣の間（Robing Room）において、光の法衣を纏う。

(2) 律法の宰相の召喚

司官は、マルクト神殿で律法の公爵を召喚し、メタトロンの顕現たる大天使の長上が「肉の衣を去る」までは、実効上の神（天使を使役する者）として活動する。この場合「肉」とは、魔術師の「光体」のことである。

3 アストラル神殿の構造

マルクト神殿を使用する。

4 身辺の準備

(1) 部屋の準備

部屋を暖かくし、プライバシーを保護できるような態勢づくりをする。（家族に部屋に入らないように断ってからドアの鍵を閉める等）、携帯電話、アラームの類はあらかじめ切っておく。部屋の中央に快適な椅子か、ソファを置き、その他の不要なものを片づける。

部屋を薄暗くする。小さな照明を利用する場合は、背後に置き、その光を直視しないように配置する。

何度も反復して練習し、象徴や、儀式の細部まで呑み込んでいても、外部の妨害ですべてが台無しになることもあり得る。準備は、怠りなく。

(2) シナリオ

シナリオ文書を単純化したので可能ならば記憶してもらいたい。記憶できない場合でも黎明視の妨げとなるので、テープの使用は控え目に。

あなたの行動する部分は**緑の文字**で記してある。神聖名を発音するとき、注意深く行うこと。事前のリハーサルは勿論、必須とも言える。

(3) 直前の手順

開始する前に手を洗い（儀式的沐浴）、法衣（または身体を締め付けない服装）に着替え、LBRPを行って椅子に座り、中央の柱の行法で活性化する。

第2章 儀式

1 神殿への入場

この準備的作業は、光体のレベルではなく、生身の肉体で行う。

参加者は、東に面して座り、目をかすかに開き（いわゆる半眼の状態）にする。視線は足下に落とし、家具などの周囲の状況が明確に像を結ばないようにする。瞼を開く程度を変えて、この焦点を結ばない状態を維持する。気持ちが悪くなった場合は、普通に眼を開いて、もう一度調整する。

半眼のまま、深く呼吸をする。呼吸は肺だけではなく、全身の皮膚を通して行う。一息ごとに、喉や鼻孔のみならず、全身の皮膚から、周囲に満ちている生気が肉体に吸い込まれ、全身の細胞を活性化させる。

あなたは光のトンネルを通過して、アストラル神殿の外庭に着地し、扉の前に立つ。マルクト神殿のヤキンとボアズの柱を通過し、青銅の扉に面すると、扉の表面に刻まれたIOSの三文字が内側から光を発し、扉は音もなく両側に開く。

神殿の内陣広間に通じる廊室において、兄弟姉妹たちが集っている。

2 ウシャブティ

先頭に立ち、集まった参加者を振り返るPCが静かに命じる。「ウシャブティを纏うべし。」PCは、率先して「小神像（ウシャブティ）」を纏う。

すなわち頭頂の光球から光を拡散し、やわらかな膜のような形に引き延ばして、喉の光球に結びつけ、さらに胸と背を通して、胴の光球を振動させ、腰を振動させ、最後は足下の光球を振動させ、全身をひとつの巨大な光の膜で包み込んでしまう。その無定型のオーラの卵を好みの神、天使、神話的形態に変化させる。この場合は、司官は顔のないアケファロスの姿形をまとう。参加者は、文字通りエジプト神話の代理神像である直立した人間の姿をもつ霊的姿形を纏う。

PCは、廊室の中央の扉をくぐり、本殿に入る。

兄弟たちは、廊室でしばし準備のできるのを待つことになる。

3 物見の塔の儀式

PCは、祭壇の西側に回り込む。自らのオーラを広間全体に広げる。そして、拡張した白く輝くオーラを保持したまま、小五芒星の追儼儀式を行う。

引き続き、小六芒星の追儼儀式及び物見の塔の儀式を行う。

参加者は、その動きを廊室から、おぼろげな円運動による渦の発生として捉える。詳細なPCの動作を視覚化する必要はない。

4 入場及び宣言

PCは神殿の西の壁を背にして、東を向き合図の鈴を鳴らす。

PCの霊的な鈴の合図で、参加者の入場が始まる。

兄弟たちは右側、すなわち南の壁際に立ち、姉妹は左側、北の壁際に立つ。

PCは、内側を向いたまま次の言葉を宣言する。

PC：「I ∴ O ∴ S ∴ の兄弟姉妹たちよ。春分の儀式を開始せん。」

5 律法の宰相の召喚

PC：「七つの封印を光体に刻印せん。」

PCは聖なる名前を唱えたあと、剣指をつくり、揃えた両膝に当てる。

参加者もPCの動作に倣う。

PC：聖名とともに唱える。「アブリース ススティイー。わが脚を封じる。」

(אָרײַם ססײַט)

全員：「わが脚を封じる。」

PC、参加者は剣指を心臓に当てる。

PC：聖名とともに「アバグ バググ。わが心臓を封じる。」(אָבאָג באַגאַג)

全員：「わが心臓を封じる。」

PC、参加者は剣指を右肩に当てる。

PC：聖名とともに「アリム ティパー。わが右腕を封じる。」(אָרײַם ת״פּאַ)

全員：「わが右腕を封じる。」

PC、参加者は剣指を左肩に当てる。

PC：聖名とともに「アブリース セシー イアー。わが左腕を封じる。」

(אָרײַם ססײַט ת״פּאַ)

全員：「わが左腕を封じる。」

PC、参加者は剣指を首に当てる。

PC：聖名とともに「アビス セル バグ エル ヤーブ ドゥーエル。わが首を封じる。」

(אָבײַט תל באַג אַרײַם דײַטאַל)

全員：「わが首を封じる。」

PC、参加者は両手を胸の前で組む。

PC：聖名とともに「アブ パク キテル スス エイカド ヤドヤド ヤー。わが生命とすべての部分を守護するために。」(אָבאָג קײַטער סס אַחאַד יײַדײַד ת״פּאַ)

全員：「わが生命とすべての部分を守護するために。」

PC、参加者は両手を頭上高く差し出しV字を形造る。

PC：聖名とともに「オーブ パス ヤーウ キーブ ヨー ザハブ ヤーウ ティティス。わが天蓋を封じる。」(אָרײַם פּאַת יײַהוּ ת״פּאַ יײַהוּ יײַהוּ יײַהוּ יײַהוּ יײַהוּ)

全員：「わが天蓋を封じる。」

PCは封印の完成と律法の宰相への呼びかけを行う。

祭壇の傍らにいるPCの上に覆い被さるように出現する巨大な天使の像がウシャブティを呑み込む。アケファロスの顔のないオーラに、律法の宰相のテレズマ的姿形が融合し、再形成されてPCの霊的外形が急激に変化する。

PCが宣言する。

PC：「われは、聖なる五つの文字に表象される無敵の一者なり。

四風を聖化するは、われなり。

五界を結ぶは、われなり。」

6 四風の聖化

P Cは東を向いて宣言する。

「I ∴ O ∴ S ∴ の神殿に四方位（よも）の風を召喚せん。」

神殿の東壁の中央に扉が現れた。

P Cは、東に向い高らかにヘブル語を詠唱する。それは、四方位の風をふるわせる呪歌である。

P C：「エロウイイー

（ אֵלֹהִים わが力の根元よ。）

ネシャマー・シェー・ナタフター・ビー

（ בָּרַךְ אֱלֹהֵינוּ שְׁמוֹ שְׁמֵךְ 汝が授けし息吹よ。）⁽⁹⁾

テホラー・ヒー

（ הָיָה טָהוֹרָה そは清浄なり。）

アター・バラーター

（ בָּרַךְ אֱתָהּ אֵת 汝がそを創造せり。）

アター・ヤツアルター

（ בָּרַךְ אֱתָהּ אֵת 汝がそを形成せり。）

アター・ネファクター・ビー

（ בָּרַךְ אֱתָהּ אֵת 汝はそを我に吹き寄せる。）

ヴェ・アター・メシャムラー・ブキルビー

（ וְאַתָּה מְשַׁמֵּר בְּקִרְבִּי וְאַתָּה מְשַׁמֵּר 汝は我がうちにあるそを監視する。）

ヴェ・アター・アティード・リット・ラー・ム・メフニイー

（ וְאַתָּה מְשַׁמֵּר אֵת אֵת 汝はいつかそを我より取上げる。）」

全員：「バラフター・ヴェ・ヤツアルター

（ בָּרַךְ אֱתָהּ אֵת 創造と形成 ）」

P Cは、東の方向に宝瓶宮のサインを描く。

P C：「ヒー・ネイ・ニー （ הָיָה נִי われはここに）

ヒー・ネイ・ニー （ הָיָה נִי われはここに）

ヒー・ネイ・アーニー・ヤー （ הָיָה אֵת נִי われはここに、神の息吹の）

アナ・ホウシーアー （ אֵת הָיָה נִי 加護のあらんことを）」

全員：「ヤー・アナ・ホウシーアー

（ אֵת הָיָה נִי 息吹の加護あらんこと）」

P Cはヨド・ヘーの呼吸を始める。全員それに唱和する。

P C：「ヨー」（呼気）「ヘー」（吸気）「ペーリー・マー」（無の性質を強く意識する。）

全員：「ヨー」（呼気）「ヘー」（吸気）「ペーリー・マー」（無の性質を強く意識する。）

東の壁いっぱい、黄色い照り返しを浴びた雲海がひろがる。

雲海は下から湧きあがる雲の断片で沸騰するようだ。

その黄色い雲の渦の中心に、灰かな薄暗い陰が生まれる。

その陰は人型をつくる。人型の頭部が紫色の光を放つ。

これはエロヒムの影だ。

(9) 来る (בָּרַךְ) の変化形 (בָּרַךְ) は、「霊が我がうちに入りたり (בָּרַךְ בֵּיתִי וְאֶתִּי)」（『エゼキエル書』2：2）のように使われる。

PCは、祭壇の南に回り、南の方向に獅子宮のサインを描く。

PC：「アーニー・ボー (וְאֵנִי אֲנִי われと名前なきもの)
アーニー・ボー (וְאֵנִי אֲנִי われと名前なきもの)
エロヘイ・イスラーエル (אֱלֹהֵי יִשְׂרָאֵל 主の力よ)」

全員：「エロヘイ・イスラーエル (אֱלֹהֵי יִשְׂרָאֵל 主の力よ)」

南の壁いっぱいに、紅蓮の炎が燃えさかる。
爆発的な溶岩の噴出、燃え上がる硫黄の噴煙を炎の陰に垣間見る。
その炎の壁のただなかに、巨大なたてがみのある生き物が見える。
強靱な爪のある筋肉の束が炎を掻き分ける。
それは獅子のすがたをもつ炎である。

PCは、祭壇の西に回り、西の方向に天鰲宮のサインを描く。

PC：「アーニー・ボー (וְאֵנִי אֲנִי われと名前なきもの)
アーニー・ボー (וְאֵנִי אֲנִי われと名前なきもの)
ホウシーアナ (הוֹשִׁיעָנִי われを助けよ)」

全員：「ホウシーアナ (הוֹשִׁיעָנִי われを助けよ)」

PCはヴァウ・ヘーの呼吸を始める。全員それに唱和する。

PC：「ヴァウ」(呼気)「ヘー」(吸気)「マー」(有の性質を強く意識する。)

全員：「ヴァウ」(呼気)「ヘー」(吸気)「マー」(有の性質を強く意識する。)

西の壁いっぱいに、ブルー・オーシャンがひろがる。
それは砂浜近くの明るい海水ではなく、海底の伺えない深海の青黒い海原である。
小島ほどもある巨大なうねりが押し寄せてくる。
その大うねりの海水の表面に、途方もなく巨大な翼ある生き物の影が映る。
それは鷲の翼のようである。

PCは、祭壇の北に回り、北の方向に金牛宮のサインを描く。

PC：「アーニー・ボー (וְאֵנִי אֲנִי われと名前なきもの)
アーニー・ボー (וְאֵנִי אֲנִי われと名前なきもの)
エレッツ・カーナーニー (אֶרֶץ כְּנָעַן カナンの地よ)」

全員：「エレッツ・カーナーニー (אֶרֶץ כְּנָעַן カナンの地よ)」

北の壁いっぱいに、乾いた大地がひろがっている。
地平線の彼方には、雲をまといつかせた山脈が遠望できる。
彼方の雪の峰から手前にかけては、なだらかな丘陵地帯になっており、
その丘の上に角のある生き物の影が射す。
生き物は牡牛のように見える。

7 ベスの筆写

P Cは、祭壇の西に回り、東面する。全員が東面する。

P Cは両腕を脇に垂して直立し、自分の呼吸に意識を集中する。しかる後、言う。

P C：「汝を助けるため天の乗り手が現れ、威光をもって蒼空（シェカキム）を通過せり。」⁽¹⁰⁾

全員が両腕を脇に垂して直立し、自分の呼吸に意識を集中する。

P Cは右手を検指にして前方へ伸ばし、東壁にベスを筆写する。

頭の高さほどに右上から左上へと水平に手を動かし、「EE-AH-OH-EH」を発声しながらヘブル文字 ם ם ם ם を視覚化する。次に、剣指を右上から右下へ動かし、「EE-AH-EH-OH」を発声しながらヘブル文字 ם ם ם ם を視覚化する。次に、剣指を右下から左下へ動かし、「EE-OH-EH-AH」を発声しながらヘブル文字 ם ם ם ם を視覚化する。最後に全体を文字ベスの形に再度視覚化する。

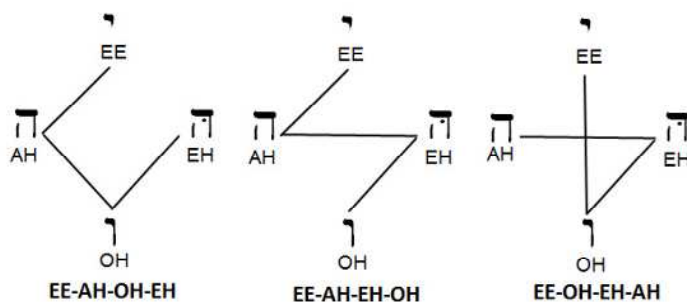
全員がP Cと同じように剣指を動かしながら、「EE-AH-OH-EH」、「EE-AH-EH-OH」及び「EE-OH-EH-AH」を発声し、ヘブル文字を視覚化する。

P Cは引き続きベスの中心に剣指を指向し、神名を唱えながら各文字の四位置をなぞる。

P C：「EE-AH-OH-EH、EE-AH-EH-OH、EE-OH-EH-AH われ宇宙の東方をベスで封印せり。」

全員はベスの中心に剣指を指向し、神名を唱えながら各文字の四位置をなぞる。

全員：「EE-AH-OH-EH、EE-AH-EH-OH、EE-OH-EH-AH われ宇宙の東方をベスで封印せり。」



P Cは、祭壇の北に回り、南面する。全員が南面する。

P Cは両腕を脇に垂して直立し、自分の呼吸に意識を集中する。しかる後、言う。

P C：「永劫なる神は汝のすまいにして、その下には宇宙の腕がある。」⁽¹¹⁾

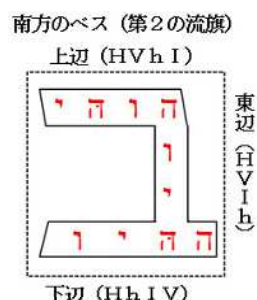
全員が両腕を脇に垂して直立し、自分の呼吸に意識を集中する。

P Cは右手を検指にして前方へ伸ばし、南壁にベスを筆写する。

頭の高さほどに右上から左上へと水平に手を動かし、「AH-OH-EH-EE」を発声しながらヘブル文字 ם ם ם ם を視覚化する。次に、剣指を右上から右下へ動かし、「AH-OH-EE-EH」を発声しながらヘブル文字 ם ם ם ם を視覚化する。次に、剣指を右下から左下へ動かし、「AH-EH-EE-OH」を発声しながらヘブル文字 ם ם ם ם を視覚化する。最後に全体を文字ベスの形に再度視覚化する。

全員がP Cと同じように剣指を動かしながら、「AH-OH-EH-EE」、「AH-OH-EE-EH」及び「AH-EH-EE-OH」を発声し、ヘブル文字を視覚化する。

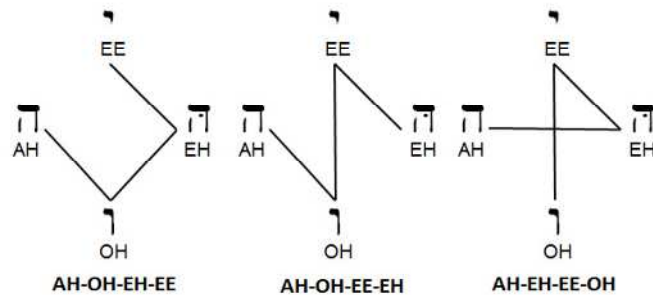
P Cは引き続きベスの中心に剣指を指向し、神名を唱えながら各文字の四位置をなぞる。



(10) 『申命記』33章26。

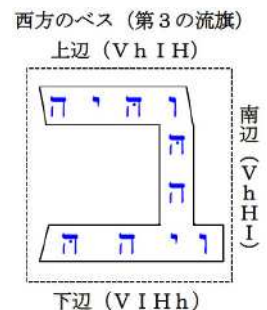
(11) 『申命記』33章27。

PC : 「AH-OH-EH-EE、AH-OH-EE-EH、AH-EH-EE-OH われ宇宙の南方をベスで封印せり。」
 全員はベスの中心に剣指を指向し、神名を唱えながら各文字の四位置をなぞる。
 全員 : 「AH-OH-EH-EE、AH-OH-EE-EH、AH-EH-EE-OH われ宇宙の南方をベスで封印せり。」



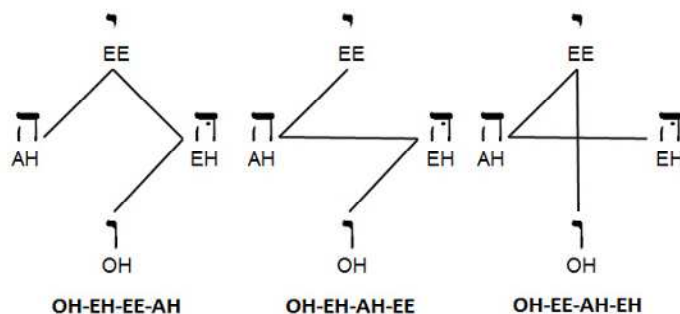
PCは、祭壇の東に回り、西面する。全員が西面する。
 PCは両腕を脇に垂して直立し、自分の呼吸に意識を集中する。しかる後、言う。
 PC : 「主は敵を汝の前から駆逐し、『滅ぼせ』と言われた。」⁽¹²⁾
 全員が両腕を脇に垂して直立し、自分の呼吸に意識を集中する。
 PCは右手を剣指にして前方へ伸ばし、西壁にベスを筆写する。

頭の高さほどに右上から左上へと水平に手を動かし、「OH-EH-EE-AH」を発声しながらヘブル文字 ם״ן״ן を視覚化する。次に、剣指を右上から右下へ動かし、「OH-EH-AH-EE」を発声しながらヘブル文字 ״ן״ן״ן を視覚化する。次に、剣指を右下から左下へ動かし、「OH-EE-AH-EH」を発声しながらヘブル文字 ״ן״ן״ן を視覚化する。最後に全体を文字ベスの形に再度視覚化する。



全員がPCと同じように剣指を動かしながら、「OH-EH-EE-AH」、「OH-EH-AH-EE」及び「OH-EE-AH-EH」を発声し、ヘブル文字を視覚化する。

PCは引き続きベスの中心に剣指を指向し、神名を唱えながら各文字の四位置をなぞる。
 PC : 「OH-EH-EE-AH、OH-EH-AH-EE、OH-EE-AH-EH われ宇宙の西方をベスで封印せり。」
 全員はベスの中心に剣指を指向し、神名を唱えながら各文字の四位置をなぞる。
 全員 : 「OH-EH-EE-AH、OH-EH-AH-EE、OH-EE-AH-EH われ宇宙の西方をベスで封印せり。」



PCは、祭壇の南に回り、北面する。全員が北面する。
 PCは両腕を脇に垂して直立し、自分の呼吸に意識を集中する。しかる後、言う。

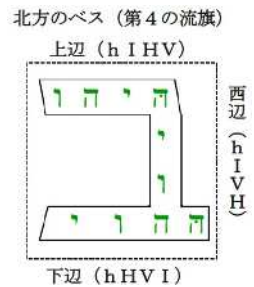
(12) 同掲書。

P C : 「永遠の永遠（アディ・アド）の腕には、大嵐が渦まく。」⁽¹³⁾

全員が両腕を脇に垂して直立し、自分の呼吸に意識を集中する。

P C は右手を検指にして前方へ伸ばし、北壁にベスを筆写する。

頭の高さほどに右上から左上へと水平に手を動かし、「EH-EE-AH-OH」を発声しながらヘブル文字 ך ך ך ך を視覚化する。次に、剣指を右上から右下へ動かし、「EH-EE-OH-AH」を発声しながらヘブル文字 ך ך ך ך を視覚化する。次に、剣指を右下から左下へ動かし、「EH-AH-OH-EE」を発声しながらヘブル文字 ך ך ך ך を視覚化する。最後に全体を文字ベスの形に再度視覚化する。



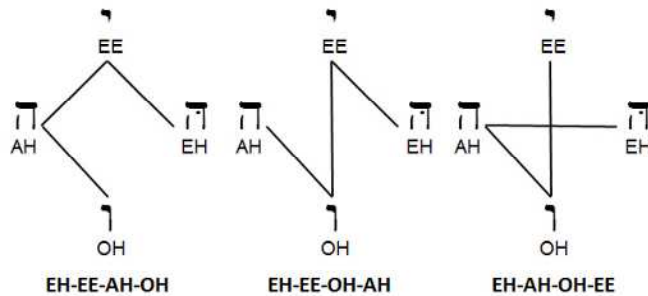
全員が P C と同じように剣指を動かしながら、「EH-EE-AH-OH」、「EH-EE-OH-AH」及び「EH-AH-OH-EE」を発声し、ヘブル文字を視覚化する。

P C は引き続きベスの中心に剣指を指向し、神名を唱えながら各文字の四位置をなぞる。

P C : 「EH-EE-AH-OH、EH-EE-OH-AH、EH-AH-OH-EE われ宇宙の北方をベスで封印せり。」

全員はベスの中心に剣指を指向し、神名を唱えながら各文字の四位置をなぞる。

全員 : 「EH-EE-AH-OH、EH-EE-OH-AH、EH-AH-OH-EE われ宇宙の北方をベスで封印せり。」



P C は、西壁に向かい東面する。

P C : 「四方のベスは、立方体の十二の辺を流旗で埋め、宇宙の十二本の柱を形成した。

宇宙の境界（ゲヴェリム）に思い馳せよ。その中には木がある。」⁽¹⁴⁾

וְהָיָה לָנוּ עֵץ חַיִּים לְרַחֵם אֶת הָעָם (ハォーズ・カテイ・ラナス・オーツァク)⁽¹⁵⁾

われらは聖処に参集せり。」

マルクトの神殿が変容する。香祭壇は、大理石の立方祭壇に変わる。

P C が祭壇の西から近づき東面し、宣言する。

P C : 「祈りの声を聞かれない。偉大にして強大なる主よ。

高貴にして慈悲深き君よ、その眼差しは被造物にあまねく下される。

汝が従僕たる祈り手に向き直り、好意を持ち答えたまえ。

全宇宙の主よ、万物の造り主よ、宇宙の一者よ。

わが叫びに答え、天の門を開きたまえ。

汝が膝下にある貴頭の御名を召喚するものなり。」⁽¹⁶⁾

(13) Chagigah 12b 「大嵐は神の腕から吊り下がり・・・」

<http://www.sefaria.org/>

(14) 『バーヒルの書』第95節。「聖なる一者は唯一の木をもちたり、そは十二の線からなる境界をもち、・・・そは世界の腕なり。その中に木がある。・・・」

(15) 『セフェル・イエツィラー』5:2による解説の冒頭部十二文字の連呼。Kaplan, *Sefer Yetzirah*, 1997, p.203.

(16) James R. Davila, *Descenders to the Chariot*, Boston : Brill, 2001, p.113.

P Cが高らかに唄い始める。

P C : 「リー・イエー・シュー・アッ・チャー・キー・ビー・ティー・シャーディー
(לִי יְשׁוּעָה קְבוּץ שְׂדֵי 汝が導きにわが望みを主よ。)
キー・ビー・ティー・シャーディー・リー・イエー・シュー・アッ・チャー
(קְבוּץ שְׂדֵי לִי יְשׁוּעָה 我が望みを主の導かれるままに。)
シャーディー・リー・イエー・シュー・アッ・チャー・キー・ビー・ティー
(לִי יְשׁוּעָה קְבוּץ שְׂדֵי 主の導きに我が望みを。)」

P C : 「サティームー・ヴェ・グー・リアー (סַתִּימוּ וְגוּ לִי)」

全員 : 「隠され開示されたり。」

聖化した四方位の風に取り巻かれ、四界へ密着せる宮殿において、春分の秘儀にあずかる。

P Cは、神殿の北に行き、南を向いて言う。

「この場は、光と闇の至聖処なり。
今、頭上に春分の太陽があり、
光は闇と均衡せんとしている。
われは律法の宰相として、
春分の執行を宣言する。」

8 春分の主祭

PCは、神殿の東側から中央を向いて言う。

PC：「祭壇に宇宙の軸を召喚せん。

I a H a V a H a (ヤアー・ハアー・ヴァー・ハアー)

H e V e H e I e (ヘイ・ヴェイ・ヘイ・イエイ)

V o H o I o H o (ヴォー・ホー・イヨー・ホー)

H I H V (ヘー・ヨド・ヘー・ヴァウ)」

PCが宣言する。

PC：「大いなる周行をもって、祭壇に集中せん。」

祭壇を軸として、3度周行する。

PC：「神秘なる周行は完成し、昼と夜は均衡した。春分は到来せり。」

PCは、祭壇の東に立ち、西に向かってハーポクラテスのサインを行う。

PC：「深き闇に拝礼す。光は闇より生まれたり。神殿の古きパスワードは・・・なり。」

PCは、祭壇の西に廻り、東に向かってホルスのサインを行う。

PC：「全き光に拝礼す。闇は光に内在せり。神殿の新しきパスワードは・・・なり。」

PC：「パスワードは交換された。」

全員が祭壇を取り囲む。

PC：「腕を組み、手と手を取りて、われらのオーラをひとつに融け合わせよう。

無敵なる主の顕現にあずかりて、われらの靈魂をひとつとなし、

そをもちて、この神殿は栄光の場とならん。」

全員が手を組み輪のなかに祭壇を包み込む。

手を放すことなく次を唱える。

全員：「主よ。われらは自らを捧げん。

わが心臓と靈魂は、汝への絶ゆることなき供物とならん。

汝が御手の技の裔を受け、汝の意志のままに与え、奪いたまえ。アーメン。」

全員、東を向く。

全員：「聖なるかな、汝、宇宙の主よ！

聖なるかな、汝、自然の造らざる者よ！

聖なるかな、汝、広大にして強大なる者よ！

光と闇の主よ。」

9 諸天使の出立

神殿の床が瞬時に溶け落ち、全員がマルクト神殿に降り立った。

PCは祭壇の北に行き、南を向く。

PCは東面し、東壁に剣指を指向し、言う。

PC：「われは宇宙の腕に四つのベスを返したり。」

全員が東面し、東壁に剣指を指向し、言う。

全員：「われは宇宙の腕に四つのベスを返したり。」

P Cは宣言する。

P C：「律法の宰相の加護に感謝する。
霊の虚の場所に戻りたまえ。」

P Cは再度、祭壇の西に行き、東を向く。

P C：「聖なる五つの文字に表象される長老たちよ。
ヨド・ヘー・シン・ヴァウ・ヘー (𐤓𐤕𐤍𐤕𐤕𐤍)
万軍の将、霊の虚の場所に住まわん。
ヨド・ヘー・ヴァウ・シン・ヘー (𐤓𐤕𐤍𐤕𐤕𐤍)
戴冠せる王、霊の虚の場所に住まわん。
光と闇の轆轤を逆転し、魔術師の肉体を脱ぎ捨て、光へと帰還せん。」

P C：「主よ、われらの賛歌を聞きたまえ。宇宙の韻律と調和に、感謝を捧げん。
主の聖霊は、森羅万象の上にあり、下にあり、内にあり、外にもある。
主よ、生ける霊と人の子らに、法悦と祝福を与えたまえ。
律法の宰相は、肉の衣を去れり。」

全員：「主よ、われらに祝福あれ。われらは絶えることなく汝を称えん。」

10 地上への帰還

P C：「人の子らよ。律法の宰相は、去れり。されば、地上に帰還せん。」

P Cは《ヴェールを閉じる》サインを行う。

P C：「イエヘシュアーとイエホバシャーの御名において、
この儀式により拘束されし、すべての《霊》を解放せん。」

P C：「われは宣言する。神殿作業は終了せり。」

全員：「神殿作業は終了せり。アーメン。」

神殿の外へ出る。神殿の外庭でウシャブティを解放し、光の洞窟を通過して光体は自分の部屋に戻る。静かに肉体に戻る。四肢の感覚が戻ったところで、光の法衣を脱ぐ。（特別な手順は必要ない。）光の法衣とともに儀式中に刻印された封印、その他の印は精妙界に去る。

その後、静かに目を開き、立ち上がる。

法衣を着用している場合は、沈黙のうちに着替える。

普段着に戻り、儀式についての個人的メモ（『魔法日記』用）を終わるまで、この沈黙を続けるのが望ましい。その後は、軽い食事、飲み物等を探り、地上に帰還したことを自分自身に印象づけること。

**VERBORUM PVBLICA
I :: O :: S ::
RITVALE DE
AEQVINOCATIO VERO XVA**

**IMPRIMI POTEST : I :: O :: S ::
NIHIL OBSTAT QVOMINVS IMPRIMATVR
IMPRIMATVR : M.E.S.A. 5=6
MARTIVS MMXV**

春分儀式 VE 1 5 A

Copyrights © All rights reserved I :: O :: S :: 2015

2015年3月15日 I :: O :: S :: 発行

本文書は、複数のまたは個人の団員が、魔術実践の練習のために使用するものであり、I :: O :: S ::の公式儀式手順書ではない。従って、本儀式を公に実施するテンプル、ロッジはその旨を会員に明確に告示する必要がある。しかし、それは同時に本文書を利用した会員の自由な実践活動を妨げるものではない。会員外の使用については、I :: O :: S ::の許可が必要である。本文書の著作権は団に所属する。本文書の内容の一部または全部を、団の文書による許可なく、機械的、電子的、光学的、霊的、その他の手段で複製、引用、転写することを禁じる。

表紙図版 : 『黄道十二宮』 HaNaShi, *Sefer Tzurat Ha-Aretz*, 1972, 59a.